

# Daily Report (号外)

## ～2019年11月の米国雇用統計について～

### 結果概要

米国労働省が12月6日に発表した11月の雇用統計では、非農業部門雇用者数の伸びは、前月比+26.6万人(前月同+15.6万人)と市場予想(Bloomberg調査、以下同様)の+18.0万人を大きく上回る結果となりました。ゼネラルモーターズ(GM)のストライキ終結に伴う一時的な増加に加えて、教育・医療サービスや、年末商戦を前に小売や流通など幅広い業種で増加となりました。また、失業率は+3.5%(前月+3.6%)と市場予想の+3.6%を下回り、9月同様、50年ぶりの歴史的な低水準となりました。平均時給は前年同月比で+3.1%となり、16ヶ月連続で3%台の伸びとなりました。

### (ご参考) 主要業種別雇用者数増減(前月比・万人)

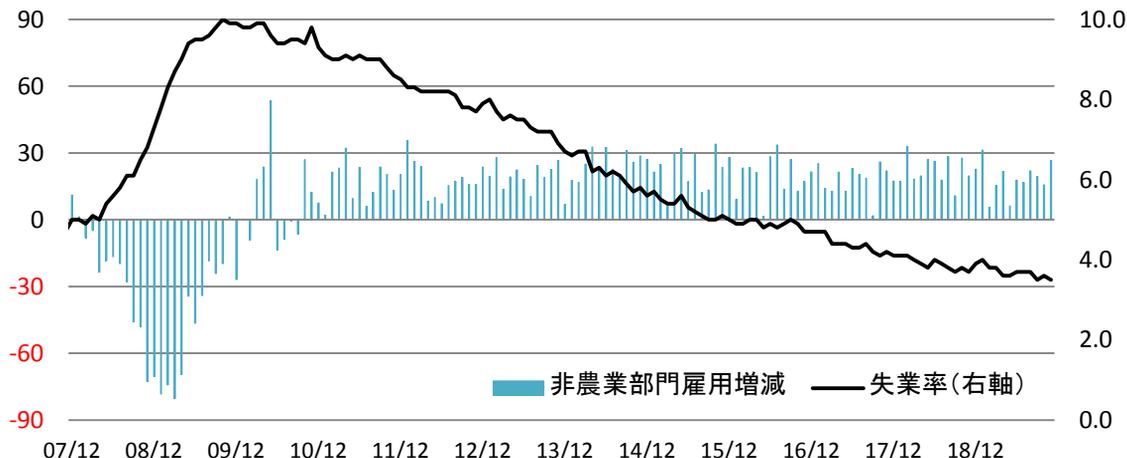
出所: 米国労働省

	19/6	19/7	19/8	19/9	19/10	19/11
非農業部門	17.8	16.6	21.9	19.3	15.6	<b>26.6</b>
鉱工業部門	2.7	-0.4	0.4	1.1	-2.5	<b>4.8</b>
建設業	1.9	-0.3	0.7	0.9	1.4	<b>0.1</b>
製造業	1.0	0.4	0.2	0.2	-4.3	<b>5.4</b>
資源・鉱業	-0.2	-0.5	-0.5	0.0	0.4	<b>-0.7</b>
サービス部門	13.4	12.6	15.9	17.2	18.8	<b>20.6</b>
卸売業	-0.1	0.5	0.2	0.5	1.0	<b>-0.4</b>
小売業	-1.2	-0.2	-0.1	1.2	2.2	<b>0.2</b>
輸送・倉庫業	2.0	-0.1	-0.8	0.9	0.6	<b>1.6</b>
情報	1.3	-0.2	-0.4	0.6	-0.6	<b>1.3</b>
金融	0.3	1.9	1.7	0.6	1.6	<b>1.3</b>
専門・ビジネスサービス業	4.3	3.7	3.8	2.7	4.3	<b>3.8</b>
人材派遣業	-0.3	-1.1	1.0	1.0	0.4	<b>0.5</b>
教育・保険業	4.8	7.6	6.3	5.7	3.0	<b>7.4</b>
娯楽・接客業	0.4	-1.3	4.8	5.6	7.0	<b>4.5</b>
その他	1.9	1.7	-0.6	-1.5	-0.7	<b>0.5</b>
政府部門	1.7	4.4	5.6	1.0	-0.7	<b>1.2</b>
失業率(%)	3.7	3.7	3.7	3.5	3.6	<b>3.5</b>
平均時給(前年比、%)	3.2	3.2	3.2	3	3.2	<b>3.1</b>

(前月比、万人)

### (ご参考) 非農業部門雇用者数増減と失業率の推移

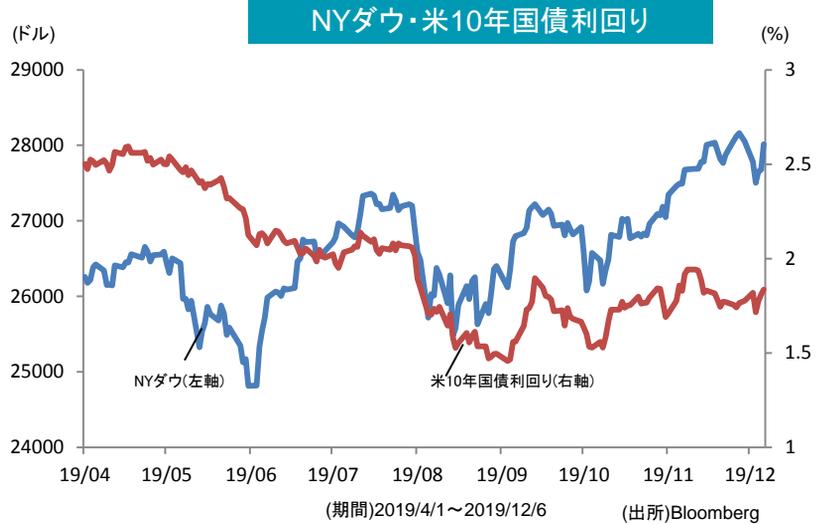
(%)



(期間)2007年12月～2019年11月 (出所)Bloomberg

## 市場の反応

6日の米国株式市場は雇用統計を受けNYダウが大幅上昇となり、史上最高値付近となる28,000米ドルを回復しました。米国債券市場では、10年国債利回りが雇用統計の結果を受けて上昇し、前日比+0.03%の1.84%程度で引けました。



## 今後に対する弊社評価

今回の雇用統計で米国経済の堅調さが確認されたことで、当面の焦点は米中貿易協議に移ります。12月15日には米国による対中国の「追加関税第四弾」が予定されており、短期的にはこの行方にふられる展開が想定されます。しかし、実体経済が堅調であることに加えて、米国は利下げ余地もあることから、株式市場は中長期的には底堅く推移すると期待されます。

## (ご参考)今後の主要イベント

	日本	米国	欧州
12月	18-19日: 日銀金融政策決定会合	10-11日: FOMC	12日: ECB政策理事会 12-13日: EU首脳会談

(出所) Bloomberg